

2024  
AUTUMN

Vol. **36**

だいしん  
ビジネス  たらす  
//// 地域のビジネスに光を照らす ////

# だいしん ビジネスたらす レポート

2024年7月～9月期・実績

2024年10月～12月期・見通し



第19回  
トップインタビュー

## 株式会社 セイノーマテリアル

■ ■ ■ 西濃地域のおすすめショップ紹介 ■ ■ ■

ワイズブルー  
洋菓子の製造販売 y's Blue



いっしょにあしたへ  
大垣西濃信用金庫

<https://www.ogakiseino-shinkin.co.jp>



LINE公式アカウント開設!  
友だち追加はこちらから!  
@ogakiseino-shinkin



本社社屋



事務所



フィットネス事業 (ANYTIME FITNESS)

## 第19回 トップインタビュー

# 株式会社 セイノーマテリアル

〒503-2213 岐阜県大垣市赤坂町101 <http://www.m-seino.co.jp/>

創業/平成5(1993)年5月 資本金/1,000万円 代表取締役/井原 拓 従業員数/70名(令和6年10月現在) 事業内容/タイヤリサイクル、自動車リサイクル、産業廃棄物収集運搬、工業薬品運搬・販売、フィットネス 拠点/赤坂第一工場、滋賀工場、カーリサイクルセンター海津、エニタイムフィットネス(岐阜瑞穂店、大垣西店、岐阜関店、瑞浪店、大垣ハイパス店、桑名店)



代表取締役 井原 拓 さん

## 役目を終えた資源でも、再び息を吹き返す。 そんな取り組みをしています。

**[若山]** 循環経済の実現に向けて、静脈産業が注目されています。貴社の事業の始まりは。

**[井原社長]** 始まりは平成5(1993)年、琵琶湖の水の浄化汚泥(産業廃棄物)を水道局から引き取って、滋賀県にあるセメント工場に納める貨物運送業です。当時は産廃=埋め立ての時代でしたが、創業にあたり先代は埋め立て以外の道を志しました。きっかけは地元セメント会社の方との出会いです。「産廃の成分がセメントの原料(天然資源)に近い」と教わり、産廃を原料の代わりにできることを知りました。産廃を埋め立てずに再利用すれば、天然資源の節約ができ、環境への負荷を軽減できます。同じ産廃を収集・運搬するなら有効利用できる道につなげたい。それが当社の原点です。

**[若山]** 使用済みタイヤのリサイクル事業が好評と伺いました。

**[井原社長]** 廃タイヤの大半は、古くからセメント工場で「燃料」として使われてきました。タイヤの発熱量は約7,000kcalと高く、石炭(約6,000kcal)に代わる燃料として最適だったからです。またセメントは約1,450℃の高温で焼成するため、廃タイヤを燃料にしてもダイオキシンが発生する心配はありませんでした。この安定的な関係に歪みを入れたのがバブル後の深刻な不況です。公共工事が激減し、セメントの生産量が半減! 廃タイヤの需要も急落しました。

当社が廃タイヤのリサイクルに着手したのは平成10(1998)年です。「タイヤが処理しきれず、困っている」というお客様の声を耳にして、当社も何かできることはないかと模索しました。一般的な商品であれば余っている所から足りない所へ移行すれば良いのですが、廃タイヤの場合は行き先がなく「需要を生み出す」所からのスタート

でした。そこで当社は平成11(1999)年に廃タイヤのリサイクル専門の工場を開設し、本格的に事業に参入。これまで原形のまま処理されてきた廃タイヤを、「お客様が使いやすい大きさ」にカットして提供するサービスを始めました。また化石燃料の代替エネルギー(CO<sub>2</sub>削減)として、販路の開拓に取り組みました。

150坪程度の工場から手探りで始めた取り組みは、現在、大垣市と滋賀県日野町の2つの工場(約370t/日)が稼働する基幹事業となりました。ホイールやビートワイヤーは丁寧に分解、分類してリサイクル。ゴムの部分は用途に合わせて粉碎し、1インチ、2インチのタイヤチップとして全国に出荷しています。近年は、廃タイヤ自体が減少傾向にありますが、当社では廃タイヤの収集・運搬から中間処理までを一貫して行って、すべての部材を資源に変える努力を続けています。

**[若山]** 自動車部門もリサイクル100%を目標とされています。

**[井原社長]** 当社の自動車リサイクルは、使用済みタイヤを集める過程で生まれた事業です。整備工場やカー用品店、解体業の方などと長年築いてきた信頼関係をベースに、お互いに必要なものや不要なものを融通しあう仕組みです。そのため、事業のメインは車の買取ではなく、中古パーツの販売です。使用済み自動車や不動産、事故車を引き上げて、使えそうな部品を「資源」に替えて有効利用することを目的としています。使用済み自動車については「自動車リサイクル法」に則った適正な処理を行っていますし、各車から取り外した部品は1点ずつ丁寧に検査しています。また、部品として再販できないものは資源としてリサイクル。フロンガスやエアバッグ、廃油、廃液は専門業者に委託して適切に処理しています。

[若山] 近年はフィットネス事業も展開されていますね。

[井原社長] 人生100年時代を迎え、健康寿命や健康経営といった言葉が身近になっています。健康は資産の一つですから守り育てる取り組みが必要です。これからの時代に向けて当社にできることはないかと考えていた時、新たな出会いがありました。

「エンタイムフィットネス」は、日本で最初に24時間ジムを実現させたアメリカ発のフィットネスジムです。マシンに特化したジム\*を、少数精鋭の人材で運営し、ローコスト経営の利点を会員様に還元していくシステムです。世界を舞台に5,000店舗以上展開しており、国内でも全国に続々出店中。6年前、初めて本部の方とお会いした時はまだ岐阜県内に系列店はありませんでした。

令和元(2019)年、当社の新たな挑戦としてフィットネス事業部を設立。速やかにFC契約を結び、瑞穂市に1号店をオープンしました。折しもコロナ禍と重なって鈍い滑り出しになりましたが、有難いことに会員様には好評で、現在は岐阜・三重に6店舗展開しています。フィットネスジムは、会員様に通っていただかなければベネフィットを届けることができません。そのため、SNSでの情報発信はもちろんのこと、正しいトレーニング方法やパーソナルメニューの作成、プロトレーナーによるアドバイス・イベントなどを企画し、会員様とのコミュニケーションを大切にしています。2024年現在、24時間年中無休は希少なものではなくりました。今後は当店らしい付加価値を意識して、「このジムに通いたい」と思っていただけのような空間づくりに努めます。リサイクルを主とするB to B企業が、「なぜフィットネス?」とよく質問されるのですが、「お客様に喜んでいただけたらと思ったから」といつもお答えしています。どんな事業を展開しても、判断の軸は同じです。

\* プールやスタジオ、スパなどの施設を置かないジム



タイヤリサイクル事業



産業廃棄物収集運搬事業



工業薬品運搬・販売事業



自動車リサイクル事業

当社の経営理念は『笑顔あふれる循環型社会を創る』です。当社に関わるすべての方が笑顔でつながるように、一つ一つのご縁を大切にしながら日々の業務にあたっています。

[若山] 笑顔の循環…素敵ですね。本日は貴重なお話をありがとうございました。

語り手/株式会社セイノーマテリアル 井原 拓 さん  
聞き手/大垣西濃信用金庫 事業成長推進部 部長 若山 謙一

西濃地域の  
おすすめ  
ショップ紹介

## ワイズブルー y's Blue

洋菓子の製造販売



甘さ控え目のシンプルなケーキ

ひと口食べたら幸せ招く  
ケーキで笑顔の輪を広げたい

ふわふわのスポンジ、さくさくのコレネ、お口の中でとろけるプリン。誰もがよく知るスイーツをどれだけ美味しく作れるか、日々工夫を重ねています。誕生日や記念日のオーダーケーキは世界で一つのデザインに! 推しメンのイメージカラーなど、ご希望やご予算に合わせてお作りします。アイシングやマジパン、プラチョコによるデコレーションもお楽しみ♪



岐阜県安八郡輪之内町楡保149-1  
営業時間 / 9:00~16:00  
定休日 / 日・月曜日



2023年12月OPEN



焼き菓子やケーキに合う珈琲も販売

- 調査期間 2024年7月～9月実績 2024年10月～12月見通し
- 調査時点 2024年9月
- 調査対象 西濃を中心とした地域の当金庫取引先事業所
- 調査方法 アンケート調査  
前期(3ヶ月前)・前年同月(12ヶ月前)とを比較した質問を実施。
- 回答企業数 572 (回答率 95.3%)
- 調査結果

回答企業の内訳						
製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	合計
195	35	105	92	122	23	572

対象企業の地域					
大垣市	瑞穂市	本美市	海津市	養老郡	
242	16	74	17	39	
不破郡	安八郡	揖斐郡	本巣郡	その他	合計
25	51	93	14	1	572

## 景気の状態と今後の見通し

全産業総合	<p>▶概況 全産業総合の3か月前との比較で見た業況判断DIは、4.4となり前期2.1と比べ2.3悪化した。業種別の業況では、製造業、卸売業、小売業、サービス業で前回調査より悪化した。建設業、特に不動産業については厳しい結果となった。全産業総合の個別項目については、生産・売上DI(前期7.0→今期6.6)、収益DI(前期▲2.6→今期▲4.8)は前期より悪化傾向、資金繰りDI(前期▲6.0→今期▲5.6)は、僅かながら悪化している。全産業総合における今後3か月間の予想では、収益のみ悪化傾向にあるが、業況、生産・売上、資金繰りについては悪化の見通しとなった。この結果から、企業は業務の効率化やコスト削減、資金調達の強化など、抜本的な対策が必要であることが分かる。全産業総合の設備投資については、今期の実施割合が3.5%である一方、今後の実施予定は2.2%と縮小の予定としている。</p>
製造業	<p>▶概況 製造業全体の業況判断DIは今期9.7と前期3.6よりも悪化した。今後の見通しについては、14.9と悪化傾向と見ている。製造業内での今期業況はDIは食料品製造(前期5.9→今期10.5)衣服その他繊維製品(前期11.1→今期16.7)金属製品(前期▲18.8→今期13.0)と回復傾向にあり、一方、窯業・土石(前期0.0→今期▲14.3)、金属プレス・メッキにおいては(前期0.0→今期▲6.7)と大幅な低下となり、製造業内においても業況については大きな差があることが窺える。</p> <p>▶製造業コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原材料価格高騰の高止まりは依然として続いている状況であるが、価格転嫁の実施や仕入れ先の見直しにより利益確保に注力しているコメントが見受けられた。</li> <li>・自動車業界では、トヨタ自動車の不正問題による生産停止に伴い受注減少が大きく影響を及ぼしているとのコメントが多数見受けられた。他の業界では、災害発生に伴う特需、円安を背景とした輸出業務の増加、電子部品関連の継続的な受注確保など、近年の様々な社会情勢を要因とした受注増加のコメントが複数見受けられ、直近の調査と比べても徐々に受注増のコメントが増加しつつある。</li> <li>・一方で人手不足のコメントが依然として多数見受けられ、増加する受注に見合った人材の確保が課題である事が窺える。</li> </ul>
卸売業	<p>▶概況 卸売業の業況DIは今期5.7と前期▲2.7より悪化。今後の見通しについては、▲8.6と悪化傾向を見込んでいる。項目別では生産・売上DIが前期▲13.5、今期20.0と大幅な悪化傾向であり、収益DIについても前期▲5.4、今期0.0と悪化傾向にある。一方、資金繰りDIについては、前期▲11.4、今期▲14.3と更なる悪化となった。足許の売上・収益の悪化がまだ資金繰りの改善まで至っていないことが窺える。</p> <p>▶卸売業コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会全体が物価上昇に向け進んでいる中、取引先に対する価格転嫁が比較的進んでいるコメントが複数見受けられた。また、「輸出関連の事業において業況上向き」「国内のインバウンド需要が戻り関連事業が好調である」などのコメントより、円安によるメリットを享受している事が窺える。</li> <li>・食品関連では、気候変動が農作物の育成に影響を与え価格高騰に繋がっているとのコメントが見受けられた。特に米の値上げによる事業への影響を懸念する声が多く寄せられている。今後は調達方法を見直し、多角的な供給元の確保など、リスクを分散する戦略が必要となる事が窺える。</li> </ul>
小売業	<p>▶概況 小売業の業況判断DIは今期▲1.0と前期▲2.9より悪化している。今後の見通しについては▲2.9と悪化を見込んでいる。生産・売上DIは前期3.8、今期▲1.0と悪化、今後の見通しについても▲4.8と悪化傾向と見ている。収益DIにおいては前期▲5.7、今期▲5.7と横ばいとなり、今後の見通しについては▲4.8と僅かながら悪化傾向と見ている。また、資金繰りDIの今後の見通しは今期DI▲8.7から▲7.7と悪化傾向にあるも回復幅は小さい結果となった。</p> <p>▶小売業コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕入、材料価格の高騰に関するコメントが最も多く、多くの事業者が仕入価格の高騰に悩まされている事が窺える。また、値上げを実施したが、来店客の減少に繋がったケースもあり、仕入値と販売価格のバランスが重要であることが窺える。</li> <li>・大手スーパーや量販店との競争が激しく、価格転嫁を慎重に行う必要がある状況の中、「品質で勝負する」「SNS集客を始めた」など価格との別の手段で集客を模索しているコメントも見受けられた。</li> <li>・卸売、サービス業のコメントと比べ、インバウンドによる売上増加に関するコメントは少なく、商材にもよるインバウンド需要の取込みは難しい事が窺える。</li> </ul>
サービス業	<p>▶概況 サービス業の業況判断DIは今期8.7と前期▲1.1より悪化。今期の見通しについても6.5とほぼ横ばいと予想される。項目別の今後の見通しについては生産・売上DIに8.7については今期DI9.8とほぼ横ばいであるが、収益DI▲1.1、今期DI4.3と悪化傾向、資金繰りDI▲8.7、今期▲5.4と悪化傾向とみている。コメントからも「コロナ禍以降旅行者が戻ってきた」「イベント等が活発に開催された」など前向きな面は見られるが、一方、運送業の2024年問題の影響による「土日の運送の減少」「ドライバー不足」「労務管理の厳格化」など厳しい面も窺える。</p> <p>▶サービス業コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの5類感染症移行から1年超が経過し、「旅行者が戻ってきた」「イベントが活発に開催され好影響」「外国人旅行者がコロナ前の水準となりつつある」といったプラス面のコメントが多数見受けられた。コロナ禍からの改善の実感が今回のDI値の悪化に繋がった事が窺える。</li> <li>・一方で運送関連については、2024年問題の影響として「土曜・日曜の運送の減少」「ドライバー不足」「労務管理の厳格化が進んだ」などのコメントが複数寄せられており、施行前に懸念されていた人手不足問題が現実的なものになっている事が窺える。</li> </ul>
建設業	<p>▶概況 建設業の業況判断DIは今期0.8と前期9.9に対し悪化傾向と見ている。今後の見通しについても▲1.6と悪化を予想している。項目別の今後の見通しについては、生産・収益DI0.0、資金繰りDI▲6.6と共に悪化傾向、収益DIは今期▲4.1に比べ▲3.3と0.8の悪化としている。資材高騰・建物価格の上昇・新築工事の注文数減少等厳しいコメントが寄せられている。</p> <p>▶建設業コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料資材の高騰の影響により建物価格は上昇、新築工事の注文数が減少傾向にある。また、今後は住宅ローン金利の上昇により新築を見送る動きも懸念されている。上記の状況を踏まえ、新築よりリフォームや修繕に注力し、売上確保を進めるコメントも見受けられた。</li> <li>・施工期間が長期となる大型建築案件については、資材価格上昇分を想定し請負契約を締結したが、契約後に資材価格が想定以上に高騰し、利益確保が厳しいとのコメントが見受けられた。今後は材料高騰に対応するため、リサイクル資材などの利用により材料利用の効率化が必要であることが窺える。</li> </ul>
不動産業	<p>▶状況 不動産業の業況判断DIは今期▲17.4と前期▲8.7より更に悪化。今後の見通しは▲21.7と悪化傾向と見ている。項目別では生産・売上DIが前期▲8.7、今期▲17.4と悪化。今後の見通しについては▲17.4と横ばいと見ている。収益DIについては前期0.0、今期▲8.7と悪化。今後の見通しについては▲4.3と悪化を見込んでいる。資金繰りDIは前期0.0、今期0.0として通して横ばいの状況となる。</p> <p>▶不動産業コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅価格高騰の影響により販売棟数は減少傾向。金利上昇により需要の冷え込みも懸念されており、不動産の動きは鈍くなる予想が多数を占めた。また、将来の少子高齢化の進展による空き部屋の増加、新築案件の減少といった、中長期的な目線から将来を懸念する声も見受けられた。</li> <li>・建設業との結びつきが強い不動産業においても、総じて厳しいコメントが散見された。</li> <li>・人口動態の変化に大きく左右される不動産業は、デジタル化やサステナビリティに対応することで今後の市場変化に適應できる企業が成長する一方、労働力不足やコストの上昇、規制の強化といった課題に対処する必要があることが窺える。</li> </ul>

▶ 図表1 景況DI値

業種	業況			生産・売上			収益			資金繰り		
	前期DI	今期DI	今後の見通し									
全産業総合	2.1	4.4	3.8 ↓	7.0	6.6	5.4 ↓	▲2.6	▲4.8	▲3.9 ↓	▲6.0	▲5.6	▲9.1 ↓
製造業総合	3.6	9.7	14.9 ↑	13.7	11.3	14.4 ↑	2.1	3.6	5.1 ↑	▲2.6	▲5.1	▲5.6 ↓
食料品製造	5.9	10.5	5.3 ↓	5.9	5.3	10.5 ↑	▲5.9	▲5.3	▲15.8 ↓	▲5.9	0.0	▲5.3 ↓
衣服その他繊維製品	11.1	16.7	16.7 ⇨	11.1	25.0	25.0 ⇨	▲11.1	▲8.3	0.0 ↑	▲11.1	▲16.7	▲25.0 ↓
窯業・土石	0.0	▲14.3	14.3 ↑	33.3	0.0	0.0 ⇨	0.0	▲28.6	▲14.3 ↑	▲33.3	▲28.6	▲42.9 ↓
金属製品	▲18.8	13.0	13.0 ⇨	▲12.5	21.7	13.0 ↓	▲6.3	8.7	4.3 ↓	▲18.8	8.7	8.7 ⇨
金属プレス・メッキ	0.0	▲6.7	6.7 ↑	23.1	6.7	6.7 ⇨	▲15.4	0.0	6.7 ↑	0.0	▲6.7	▲6.7 ⇨
その他製造業	0.0	9.4	12.5 ↑	5.1	3.1	3.1 ⇨	0.0	3.1	6.3 ↑	▲7.7	▲3.1	▲3.1 ⇨
卸売業	▲2.7	5.7	▲8.6 ↓	▲13.5	20.0	11.4 ↓	▲5.4	0.0	▲2.9 ↓	▲11.4	▲14.3	▲17.1 ↓
小売業	▲2.9	▲1.0	▲2.9 ↓	3.8	▲1.0	▲4.8 ↓	▲5.7	▲5.7	▲4.8 ↑	▲8.9	▲8.7	▲7.7 ↑
サービス業	▲1.1	8.7	6.5 ↓	0.0	9.8	8.7 ↓	▲3.3	4.3	▲1.1 ↓	▲6.7	▲5.4	▲8.7 ↓
建設業	9.9	0.8	▲1.6 ↓	13.2	4.1	0.0 ↓	9.9	▲4.1	▲3.3 ↑	▲0.8	▲4.1	▲6.6 ↓
不動産業	▲8.7	▲17.4	▲21.7 ↓	▲8.7	▲17.4	▲17.4 ⇨	0.0	▲8.7	▲4.3 ↑	0.0	0.0	0.0 ⇨

今後の見通しは今期DI値と比較してDI値がプラスの場合は ↑ マイナスは ↓ 0は ⇨ で表記。

▶ 図表2 設備投資の状況

業種	設備投資			
	今期実施割合	投資の内訳(最も多いもの)	設備の目的(最も多いもの)	今後の実施予定
全産業総合	3.5%	機械の新・増設	合省力化	2.2% ↓
製造業総合	4.6%	機械の新・増設	合省力化	4.1% ↓
卸売業	0.0%	—	—	0.0% ⇨
小売業	4.8%	店舗事務所	合省力化拡販投資	1.0% ↓
サービス業	2.2%	土地店舗事務所倉庫その他	開発投資	2.2% ⇨
建設業	2.5%	建物機械の新・増設更改	合省力化	0.8% ↓
不動産業	—	—	—	—

(今後の実施予定は今期実施割合と比較して増加する場合は ↑ 減少する場合は ↓ 変わらない場合は ⇨ で表記)

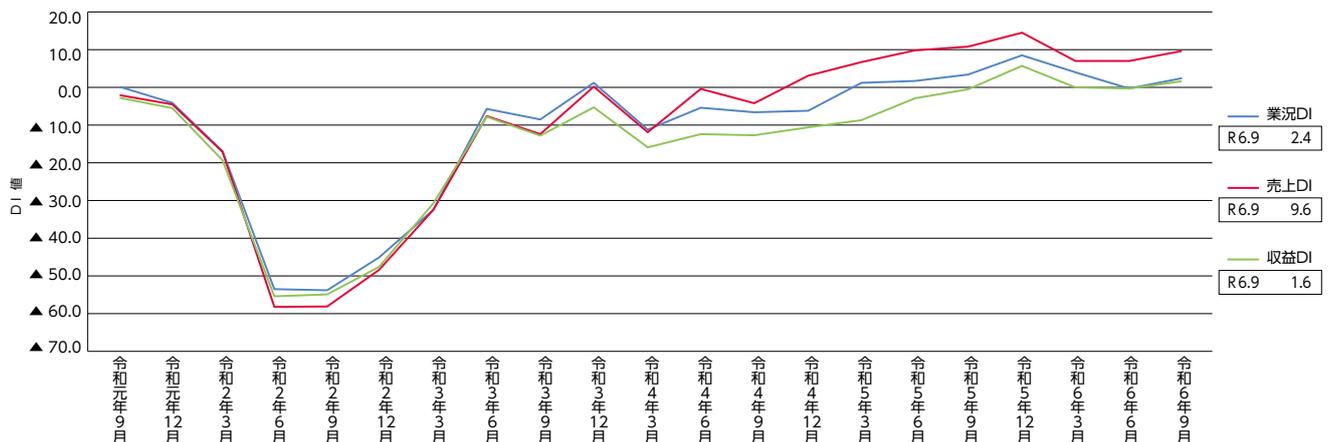
▶ 図表3 経営上の問題点

業種	経営上の問題点							
	売上・受注の減少		人手不足		競争の激化		その他	
	今期割合	前期との比較	今期割合	前期との比較	今期割合	前期との比較	今期割合	前期との比較
全産業総合	36.0%	↓	38.3%	↑	12.4%	↓	2.8%	↓
製造業総合	32.8%	↑	43.1%	↑	6.2%	↑	3.6%	↑
卸売業	45.7%	↓	34.3%	↓	22.9%	↑	0.0%	↓
小売業	44.8%	↓	24.8%	↑	22.9%	↓	1.9%	↓
サービス業	33.7%	↓	44.6%	↑	8.7%	↓	3.3%	↑
建設業	30.3%	↓	43.4%	↓	7.4%	↓	3.3%	↓
不動産業	47.8%	↑	13.0%	↓	43.5%	↑	0.0%	↓

(前期との比較は前回調査と比較して増加している場合は ↑ 減少している場合は ↓ 変わらない場合は ⇨ で表記)

▶ 図表4 主要DI値の推移

(調査の分析は3か月前と比較した回答結果を中心におこなっています。しかし3か月前との比較は季節的な要因を含んでおり長期の景況感の変化を見るため、業況・売上・収益の3項目については、前年同月と比較してどうだったのかを質問しています。図表4はこの前年同月と比較した景況感を時系列のグラフにしたものであり、西濃を中心とした地域の長期の景況感の推移を示しています)



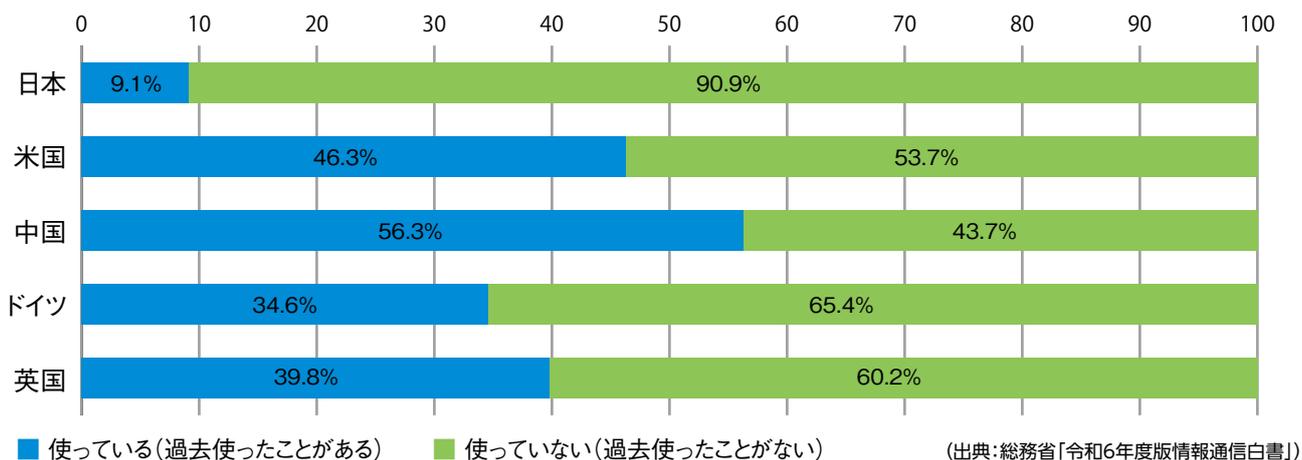


昨今の生成AIの技術は日々進歩しており、事業活動においても生産性の向上や、人手不足の解消への活用が期待されております。このような中、総務省「令和6年度情報通信白書」にて日本における生成AIの利用状況について公表されました。今回、生成AIの利用状況について令和6年度情報通信白書に基づき当地域（西濃地域）の特別調査を実施致しました。

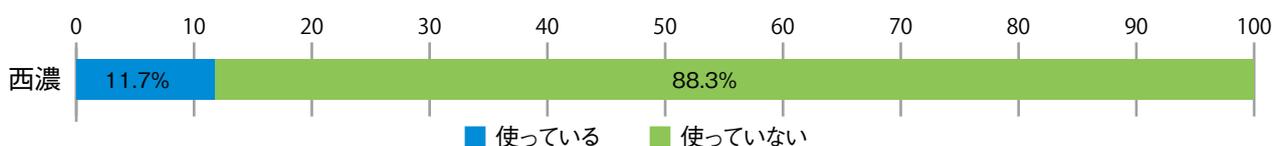
※総務省「令和6年度情報通信白書」とは  
情報通信の現状及び政策の動向についてまとめたものであり、総務省から毎年発刊されているものです。今回、同白書の  
中からAIの利用状況について抜粋して掲載しております。

### 1. 生成AIの利用経験（個人利用を含む）

#### (1) 他国との比較



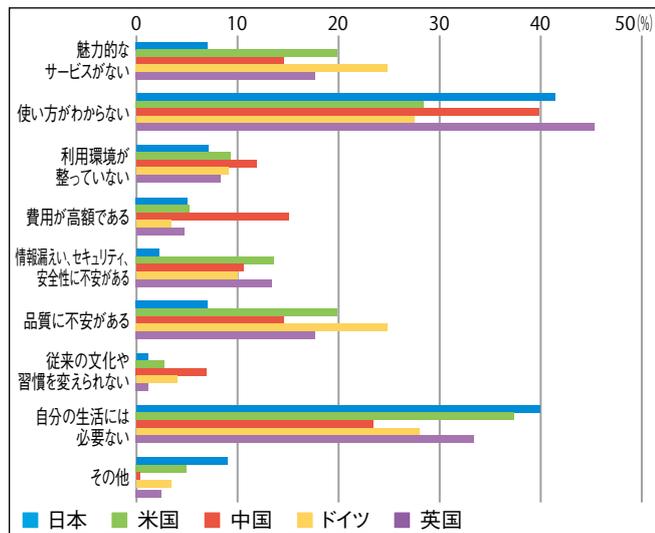
#### (2) 西濃地区の状況



他国と日本全体を比較した場合、日本で生成AIを利用している個人が9.1%にとどまる中、比較対象とした中国(56.3%)、米国(46.3%)、英国(39.8%)、ドイツ(34.6%)と大きな開きがあった。また今回調査を行った西濃地域においては、「使っている」が11.7%と日本全体と比べて若干上回るものの、9割近くの方が使っていない状況にある。

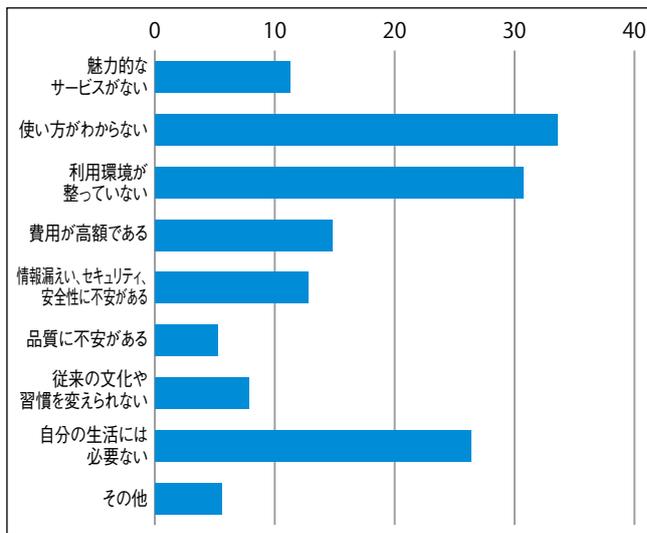
### 2. 生成AIを使わない理由

#### (1) 他国との比較



(出典:総務省「令和6年度情報通信白書」)

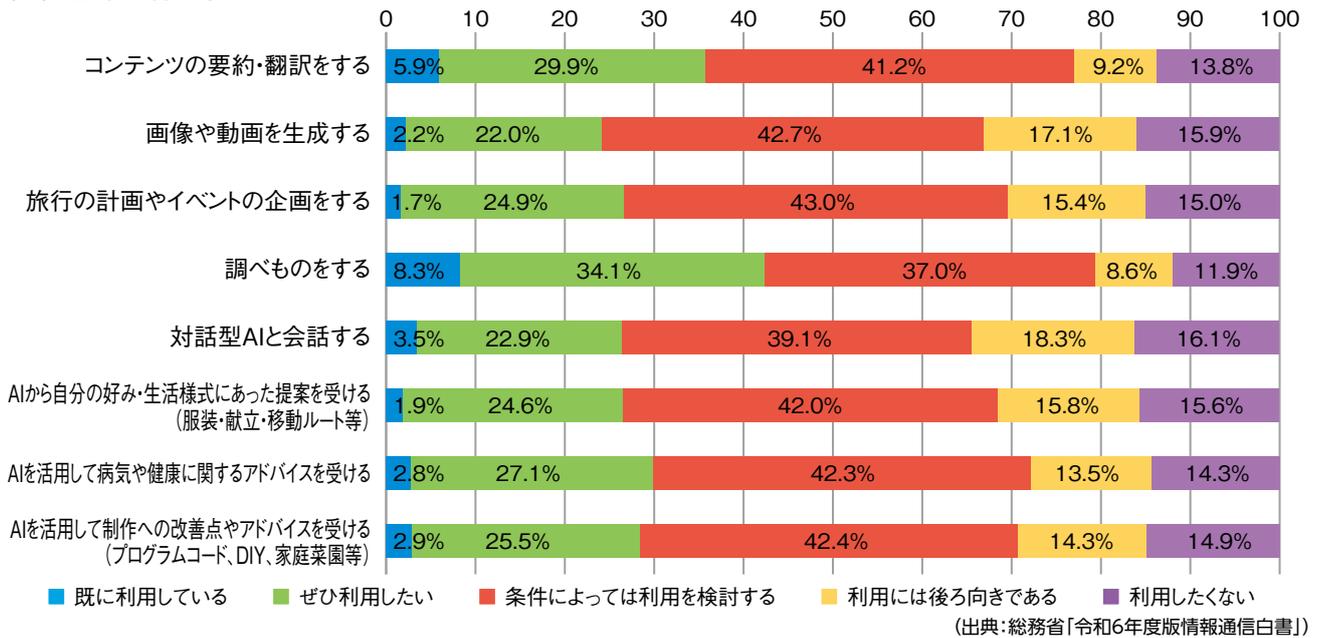
#### (2) 西濃地区の状況



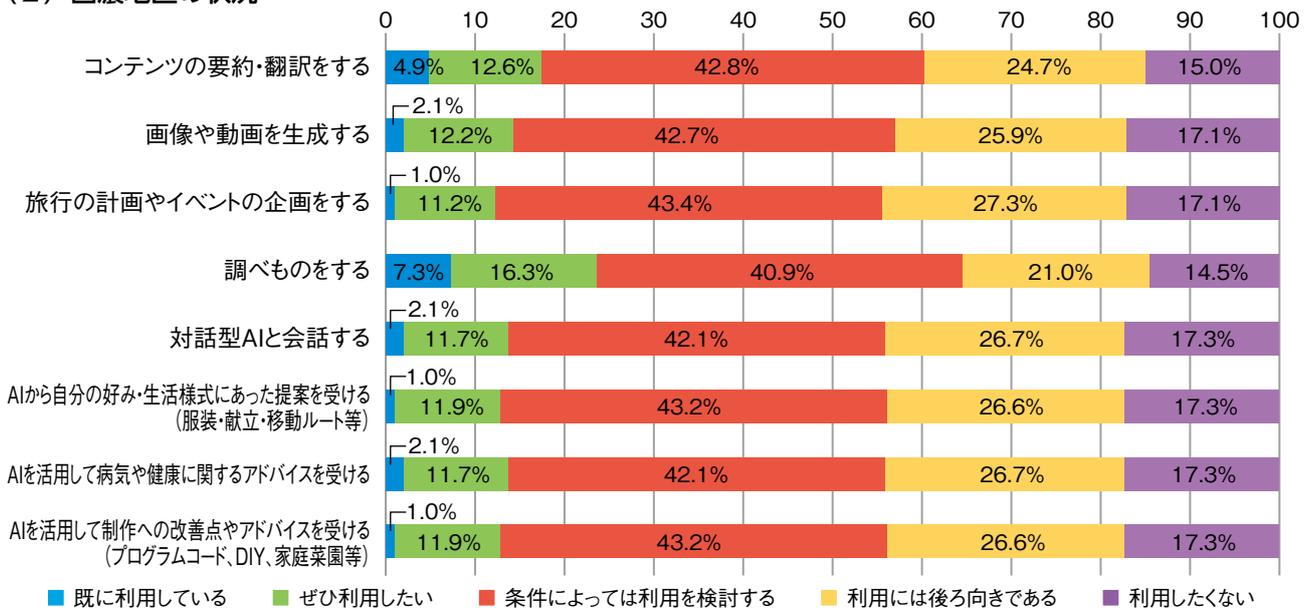
日本全体で利用しない理由については「使い方がわからない」「生活に必要な」が4割超を占める。一方で情報漏えいの懸念が他国では10%を超える中、日本のみ極端に低い事が窺える。西濃地区でも「使い方がわからない」がトップであるが、「利用環境が整っていない」との回答が30.7%あり、環境整備が課題であるとの声が多く寄せられた。

### 3. 生成AIの利用意向

#### (1) 日本全体の状況



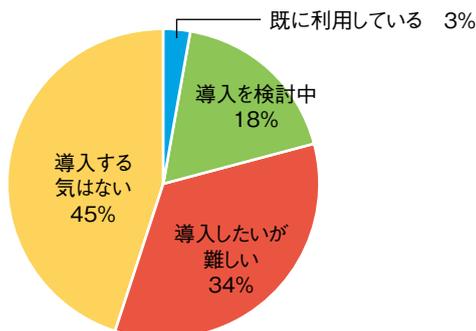
#### (2) 西濃地区の状況



日本全体における「既に利用している」との回答は「調べもの (8.3%)」が最多となり、次いで「コンテンツの要約・翻訳 (5.9%)」であるが、共に1割にも届かない現状であった。西濃地域においても同様で「調べもの (7.3%)」「コンテンツの要約・翻訳 (4.9%)」が使用目的の上位となっている。

一方で、日本全体では『ぜひ利用してみたい』の回答が『利用には後ろ向きである』の回答を上回っているが、西濃地区では逆になっており、生成AIの活用を積極的に進める意向は、今のところ低い状況にある事が窺える。

#### 4. 生成AIの事業への活用について (西濃地域の状況)



生成AIを事業へ活用する方針について調査したところ「既に利用している」は3%と、「個人を含めた利用率 (上記1.)」の4分の1程度の水準に留まる。一方で「導入を検討中」「導入したいが難しい」までを含めた割合は、55%を占めており、将来的に生成AI使用の普及や環境整備が進めば、半数程度の事業者へ導入が進む事が期待される。



### 有効求人倍率・新規求人倍率の推移

(対象地域：西濃地方=2市4郡=大垣市・海津市・不破郡・養老郡・安八郡・揖斐郡) (単位：%)



### 求人倍率

#### ●新規求人倍率とは

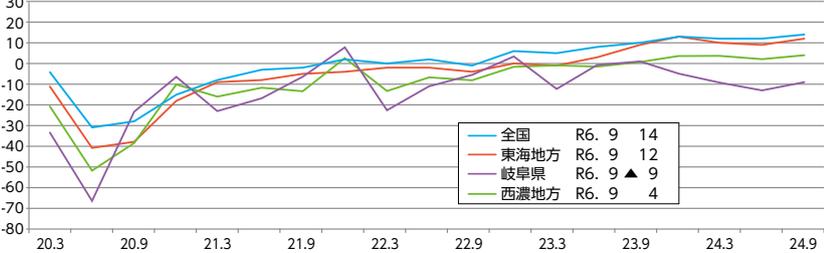
新規求人数(当該月に新たに受け付けた求人数の合計)を新規求職者数(当該月に新たに受け付けた求職者数の合計)で割ったもの

#### ●有効求人倍率とは

月間有効求人数(先月から繰り越した求人数に、当月新たに発生した求人数を合計したもの)を月間有効求職者数(先月から繰り越した求職者数に、当月新たに発生した求職者数を合計したもの)で割ったもの

### 各地域と当金庫地区内の景気動向比較

(単位：ポイント)



(資料：全国及び東海地方のデータは日銀短観 / 岐阜県のデータは法人企業景気予測調査)

※直近調査データ対象企業数 回答率(%)

全国	9,038	99.2	岐阜県	168	85.7
東海地方	345	99.8	西濃地方	572	95.3

### 景気動向比較

#### ●日銀短観とは(DI調査)

正式名称を「全国企業短期経済観測調査」といいます。全国の企業動向を的確に把握し、金融政策の適切な運営に資することを目的に、全国の約1万社の企業を対象に四半期毎に実施されており

ます。全国のデータ 出典 / 「全国企業短期経済観測調査」(日本銀行) <https://www.boj.or.jp/statistics/tk/index.htm/> を加工して作成

東海地方のデータ 出典 / 「東海3県の短観」(日本銀行 名古屋支店) <https://www3.boj.or.jp/nagoya/toukei.html> を加工して作成

#### ●法人企業景気予測調査とは(BSI調査)

法人企業景気予測調査は我が国経済活動の主要部分を占める企業活動を把握することにより、経済の現状及び今後の見通しに関する基礎資料を得ることを目的として、資本金1千万円以上の法人企業を対象に実施している調査です。

出典 / 「法人企業景気予測調査」(東海財務局) [http://tokai.mof.go.jp/gifu/g\\_keizaiindex.htm](http://tokai.mof.go.jp/gifu/g_keizaiindex.htm) を加工して作成



お客様とお客様をつなげたい

「つながり」は、だいしん経済クラブ・だいしん経営者懇話会を中心に、地元経営者の皆様のご縁を結ぶコーナーです。



広瀬自動車 廣瀬 清和さん



株式会社三田自動車工業 大前 竜也さん



有限会社クッチーナ 田中 照道さん



南部運送株式会社 高橋 まなみさん



株式会社NEXT 高橋 江美さん

南部運送株式会社 代表取締役 高橋 まなみさん (大垣市出身)

スタッフの丁寧な仕事と綺麗でカッコ良いトラックが自慢です

大垣市釜釜1-552 Tel.0584-84-3499



株式会社NEXT 代表取締役 高橋 江美さん (岐阜市出身)

『お客様の様々なご要望にお応えし安全に誠実に、安心と信頼をお届けします』

瑞穂市生津天玉東町1丁目54番地 Tel.058-327-2272

#### いくつになっても続けたい『和』

幼い頃から憧れていたお琴や茶道、着付けの稽古を30代になってやっと始めることができました。素敵な師匠に恵まれて和の魅力にハマリ、気づいたら「人を教える資格」を持つまでになりました。社長就任後は多忙を極め、少し遠ざかってしまいましたが、大好きなお稽古がまたできるように「時間と心の余裕」を持つことが目標です。趣味は様々ありますが、やはり「和」は良いですね。

#### 少年団活動を通じて豊かな人間性形成を

私には三人の息子がおります。小学校4年の三男が1年ほど前にサッカー少年団に入団し私もサッカー観戦が大好きで興味を持っていました。少年団活動についてはよくわからないまま入団しましたが、チームワークや人間関係を大切にしている少年団活動を通じて、子供たちの成長に感動しました。これからも、この活動を続け、子供の成長に時間をを使うことの重要性を改めて感じています。

2024 AUTUMN Vol. 36

## だいしん ビジネスてらす レポート

- 調査期 2024年7月～9月期
- 発行所 大垣西濃信用金庫 事業成長推進部 〒503-0828 大垣市恵比寿町1丁目1番地 TEL(0584)75-6148
- 発行日 2024年10月21日

### DI(Diffusion Index)について

DIとは、増加企業割合から減少企業割合を引いた数値で、どちらの力が強いかを比べて、景気がどの方向に向きつつあるかを見る方法である。(例)前期に比べて売上が増加した企業割合30%、変わらなかった企業割合50%、減少した企業割合20%の場合、DIは30%-20%=10%となる。

### 本レポートの分析について

本レポートの全業種総合及び各業種の分析は、前期(3ヶ月前)と比較した回答結果で実施しました。

だいしん ケータイサイトはこちら

